

マッシモ・ラ・ローサ (トロンボーン)

Massimo La ROSA

1974年イタリアのパレルモ生まれ。

パレルモ音楽院にてフィリッポ・ボナンノ（シチリア交響楽団の首席トロンボーン奏者）に師事。

1996年から2007年まではベニスのフェニーチェ歌劇場管弦楽団の首席トロンボーンを務め、またミラノ・スカラ座管弦楽団、ローマ聖チェチーリア管弦楽団、フローレンス歌劇場管弦楽団でもソロ・トロンボーン奏者を務める。

2007年9月に首席トロンボーン奏者としてクリーブランド管弦楽団に入団。2013年2月にオーケストラの定期演奏会でソロデビューを果たし、その際ニーノ・ロータ作曲のトロンボーン協奏曲を披露。これまでに、日本のサイトウ・キネン・オーケストラでも首席トロンボーン奏者として演奏。

現在、クリーブランド音楽院で教鞭をとっており、アメリカ、ヨーロッパ、日本と南米の主要な音楽院でのリサイタルやマスタークラスを行っている。また、社会的な大義にも積極的に取り組んでおり、最近網膜疾患を持つ子どもに財政支援や治療を提供する組織 ANFE Light of Life 募金のためにクリーブランドやデトロイトのイタリア領事館と共同でいくつかの給付リサイタルを行い、数千ドルの寄付を集めることに貢献している。

バック・トロンボーン・アーティストとして、自身の名を冠したマッシモ・ラ・ローサ バルブを導入した新しいバック・アルティザン・トロンボーンA47MLRをコーン・セルマー社と共同開発した。

林 浩子 (ピアノ)

6歳よりピアノを始める。京都市立堀川高校音楽科卒業。桐朋学園大学卒業。同大学アンサンブル・ディプロマコース修了。1998年より'06年まで桐朋学園大学嘱託演奏員として活動。2002年6月に公開された映画「記憶の音楽 Gb」では黒澤優が演じるピアノ音楽の吹き替えを担当。演奏したラヴェル作曲「亡き王女のためのパヴァーヌ」は、サウンド・トラック盤としてトイズファクトリーよりリリースされた。1995年八千代交響楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲2番を協演。2006年にはチャイコフスキーのピアノ協奏曲を八景フィルハーモニーと協演。2009年ホルニスト・丸山勉氏のDVD収録において共演。オーストリア・サマーフェスティバルにて優秀賞受賞（この演奏はオーストリア放送協会より紹介される）。やちよピアノコンクール第1位入賞、併せて市長賞を受賞。北海道・旭川新人賞受賞。2010年7月に再び、八景フィルハーモニーとラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を協演。これまでに、小林都司子、島崎清、大島正泰の各氏に師事。現在、海上自衛隊東京音楽隊講師、浜松国際管楽器アカデミー公式伴奏者。

〔お問い合わせ〕 大阪音楽大学コンサート・センター
TEL: 06-6334-2242 FAX: 06-6334-2164
〒561-8555 豊中市庄内幸町 1-1-8

〔窓口受付時間〕 月～金曜日 9:00～17:00 土曜日 9:00～15:00
(日曜日・祝日、8月12日(月)～16日(金)、30日(金)、8月中の土曜日はお休み)

〔入場券申込方法〕 ● はがき、または FAX で、「氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、演奏会名、人数(1回のお申込につき最大3名まで)」を明記のうえお申し込みください。
● 電話、ホームページからもお申し込みになれます。
URL <http://daion.ac.jp>
※この演奏会では、乳幼児、未就学児童のご入場をお断りいたしております。

